

若竹

第四十六号



愛媛県神道青年会

事務局 〒790-0008
松山市丸之内73-1 東雲神社内
TEL 089-921-8938
FAX 同上
URL <http://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

会長 和武省一



当会も平成十八年度を迎えるとともに、再発足三十五周年を翌年に控えることとなりました。

昭和四十七年の再発足当時以来の諸先輩方々に敬服いたしますとともに、以来、運営維持のため御協力いただいております諸賢方々に御礼申し上げます。

近年、神社界で「地域社会の核」となるべく本庁を中心とした施策・活動が行われているのは周知のところでありますが、実際のところ各神社ではなかなか思うようにはいかない神社も多々あるのではないのでしょうか。「公」から「個」へ時代が変わり、そこに「核家族化」

「少子化」が押し寄せ、地域社会の成り立ちが変われば神社を取り巻く環境も変化するのは至極当然であり、最近よく耳にする「神社離れ」と言われる一因にもなっております。しかし、神社への日参、祭りの地域での参加等々行わない人達が全て「神社離れ」ではなく、中には神職が教化を行うことにより神社を知り、足を赴ける氏子が多数含まれていると思います。そのような人々にいまや神社の現存だけで「心の拠りどころ」とは成りえない、ここにお社が鎮座し、そして、奉仕す

る神職が何故存在するのか、今一度中執持としての存在意義を示す時ではないのでしょうか。

現在青年会該当者約八十名のうち神職以外の兼職をされている方が約六十%です。その為、本会役員も少数精鋭にて運営しており、なかなか思うように活動もできておりませんが、本年は神社界は基より様々な時局問題にも取り組む予定でございます、今後各会員を始め諸先輩方々の御意見を纏々お伺いしながら、本年度歩んで参る所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。



いつも心に禊場

慰問神楽

中島町 姫ヶ浜荘 報告

去る二月二十二日、松山市(旧温泉郡中島町)長師にごさいます、特別養護老人ホーム「姫ヶ浜荘」に於きまして、慰問神楽が開催されました。

当日、曇り空。雨も時折降るあいにくの天気でしたが、当青年会会員有志、伊予豆比古命神社 巫女並びに伊予神楽の皆様の御協力を得て十四名が参加しました。

午前十時十分。三津浜港を出港した一行は、いくつかの島に寄港の後、中島は大浦港へ。瀬戸の内海の早い潮流と、そこに点在する島々。豊富な自然の営みの中に暮らす人々。何か街の空気とは違った時間の流れが感じられます。港より姫ヶ浜荘迄、専用のマイクロバスにて移動。昼食の後、会場確認。打ち合わせを行いました。

「このような日本の伝統文化にふれる

機会はなかなか無く、ご老人も今日この日を非常に楽しみにしていました」と話される金子恵施設長。公演前の打ち合わせの時には、「施設内の彼方此方で「どんな事をするの?」「何時から?」の声と、舞台前には心待ちにしていた数人のご老人がニコニコしながら既に開演を待つておられました。

午後一時三十分、公演開始。演目は「悠久の舞」「神躰鉦女之舞」「越天楽」「豊栄の舞」「弓の舞」の五曲。優雅な巫女舞に管弦の音色。「天の岩戸神話」に基づいたしなやかな舞に、勇壮な弓の舞。時折、拍手を戴きながら、公演の途中、楽器紹介の中で「故郷」を演奏した時には、口ずさむご老人が沢山おられました。

帰路、松山より荷物を載せ、同行した車が神浦港より乗船台数オーバーの為乗船出来ず、一便遅れで大浦港よりの便を余儀なくされたハプニングも有りましたが、公演でのご老人の笑顔と、私達を港迄見送られた方々の気持ちに感謝しながら、

ら、今回の慰問神楽を成功に納め、御協力賜りました姫ヶ浜荘様、関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

【榎部浄之】

★奉仕者集合写真★



WAKATAKE PHOTOGRAPH



徳円神社 写真

右 上 石鎚神社 正式参拝
右 下 石鎚神社宮司十亀興美様 講演
左 上 午前六時からの禊行
左 下 鎮魂行へ向う受講生 雪でした



神道行法録成会 写真



祖霊殿での二回目の鎮魂
真剣に気を静める受講生

まだ薄暗い石鎚神社禊場
靈気漲る受講生

神道青年四国地区協議会
設立十周年記念事業
神道行法錬成会 報告

平成十八年三月十三、十四日、神道青年四国地区協議会設立十周年記念事業の一環として神道行法錬成会を石鎚神社様の全面的な御協力の下開催されました。本来でしたら去年九月開催予定でしたが、台風九号の為今年に延期されました。暖かい日が続いておりましたが、運良く当会に合わせたように雪が降る厳寒の錬成会になりました。

先ず、正式参拝、閉講式の後、石鎚神社十亀宮司様の講話を拝聴いたしました。石鎚神社の成り立ち、信仰を中心に神社界に取り巻く様々な問題、神に仕える神職の役割、務めについてお話し戴きました。「お山に登るということは神様に命を預けて命の再生、蘇りを図る。」というお言葉が、まさに

今錬成会に合致したものでした。また、「神職は命掛けて祈れ」という言葉がとても印象的でした。

次に道彦の佐藤豊先生、助彦の森口義文先生による禊・鎮魂法の講義を賜りました。佐藤先生の緊張感溢れるお話で益々、行の前の気持ち昂ぶらせて頂きました。夕食（おかゆ中心の食事）を終わらせ石鎚神社拝殿にて鎮魂行を行いました。石鎚神社の靈氣と夜の肌寒い冷気の中緊張感漲る鎮魂行になりました。

翌朝五時半起床、六時より愈々禊行です。春未だ浅い幽暗の朝、「寒い」なんて言ってられない状況の中、佐藤道彦先生、森口助彦先生共に三十二名の参加者の声が響き渡り、そして、一気に禊場へ向きます。水に浸かり大祓詞奏上、正に命懸けの瞬間です。神と接する事の厳しさを身を以って体験させて頂きました。また禊が終わった後、午前中は雪が降り続いていました。その雪の中、祖霊殿にて鎮魂行を行い、後、閉講式で今回の錬成会

が終了しました。参加者全員忘れる事の出来ない錬成会になったと同時に、設立十周年記念事業に相応しい錬成会になりました。常日頃の神前での御奉仕の中で、いやそれ以上の普段の生活の中でも神職としての心意気を正し、常に神に接する厳しさ難しさを意識して奉仕しなければならぬと思えました。

今錬成会会場をご提供頂きました石鎚神社様に感謝しますと共に、お集まり頂きました四国四県の皆様有り難うございました。今錬成会で蘇りました参加者一人一人の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

【一宮利史】



食事はおかゆ中心で、梅干がとても美味しく感じられました。また、閉講式から閉講式まで禁酒禁煙でした。

平成十七年度神道青年全国協議会
中央研修会 報告

去る平成十八年三月二十三日・二十四日の両日、中国五県青年神職協議会
主管・鳥取県神道青年会担当にて、鳥
取県は皆生温泉・皆生グランドホテル
を会場に「平成十七年度 神道青年全
国協議会中央研修会」が執り行われま
した。当会からは、和氣会長を始め九
名の会員が参加致しました。

当日、生憎の空模様だった事もあり、
鉛色の空の下、日本海が一層荒々しく
恐ろしいな感じで私たちを迎えてくれ
ました。

本年度の研修テーマ・主題「和魂(わ
こん)」を受け継ぎ伝うべき日本人の心
とし、開講式に次いで研修会が始ま
り、第一講の潮 匡人 先生には、国
防の現状、自衛隊の存在の意義等につ
いてご講義頂きました。

第二講の宮川 大助 先生 は、ご出

身が鳥取県であると云う事で、幼少の頃
過ごされた出身地のお話や、ご自分の神
社へ対する考え・神々に対する世界観な
どをお話になりました。講演後休憩時間
を挟み、懇親会へと移り夜は更けて行き
ました。

翌二日目の第三講は、徳永 圀典 先
生により、徳永先生が日常に於いて考え
られる、日本人としての在り方と申しま
しょうか、欧米に流されない本来の日本
人の姿みたいなお話を、「ハッピーバス
デー」の歌を日本語の歌詞で唄われたり、
楽しいトークを交えつつご講義頂きまし
た。その後レポート作成を経て閉講式と
なり、研修会を終えました。

この二日間の研修を受講させて頂き、
長い日本の歴史の中で近年忘れがちな
「大和魂」日本人として、また神道人と
しての在り方を改めて考え直す良い機会
となりました。

この中央研修会主管としてご尽力頂き
ました中国五県青年神職協議会の皆様、

また、担当県の鳥取県神道青年会の皆様
に紙面をお借りして御礼を申し上げます、研
修会のご報告とさせて頂きます。

【田内逸知】



右上 中央研修会受講生、右下 潮 匡人 先生
左上 宮川 大助 先生、左下 徳永 圀典 先生

第三十五回 定時総会 報告

去る五月九日、松山市のいよてつ会館において、昭和二十七年の再発足以来三十五回目となる第三十五回定時総会が開催されました。冒頭、和気会長が会の活動に対し会員の積極的な参加を呼び掛けられ、会員も会長の切実な訴えに熱心に耳を傾けていました。審議に入る前に武智秀忠君が議長に選出され、議案採択の後、平成十七年度の会務報告並びに収支決算報告や平成十八年度活動計画案や予算案の承認等が行われました。慎重審議の結果、全ての議案が承認され恙なく総会が終了しました。

総会終了後、定例の懇親会が開催され、愛媛県神社庁長、長曾我部延昭様はじめ八名のご来賓の方々のご臨席を賜り、終始和やかな雰囲気の中で執り行われました。また、総会・懇親会に



第三十五回 定時総会 和気会長 挨拶

は三名の新しい会員も出席して頂き、他の会員との親睦を深めていました。新会員の皆様には、これを機会に当会の運営や活動に興味をもっていただき、臆することなく参加していただきたいと存じます。

来年は三十五周年の節目を迎える年であり、これに向かっての諸事業も予定されることは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【小野哲也】



愛媛県護國神社 宮司 波爾 莊様 乾杯の御発声



愛媛県神社庁 庁長 長曾我部延昭様 御挨拶

平成十七年度会務報告

起・平成十七年四月 一日
至・平成十八年三月三十一日

平成十七年

- 四月二十一日 第一回役員会 【国際ホテル松山】
(和気会長以下十三名出席)
- 二十一日 第三十四回定時総会 【国際ホテル松山】
(和気会長以下二十二名出席)
並びに懇親会 【国際ホテル松山】
(来賓を含め三十一名出席)
- 二十七日 神道青年四国地区協議会 【神社本庁】
(三名出席)
- 五月 十日 神道青年四国地区協議会 設立十周年
周年奉生祭 【愛媛県神社庁】
(和気会長以下七名出席)
- 十日 神道青年四国地区協議会第一回役員会 【徳島県八幡神社】
(和気会長以下六名出席)
- 三十日 第二回役員会 【伊豫豆比古命神社】
(十一名出席)
- 六月 一日 会報「若竹」第四十四号 発刊
十三日 高松高等裁判所所轄国神社参拝訴訟傍聴
(長官我部副会長・武知理事出席)
- 七月 五日 女子神職会総会 【愛媛県神社庁】
(武知理事出席)
- 二十日 愛媛県護国神社正式参拝
(和気会長以下八名参列)

- 七月 二十日 第三回役員会 【愛媛県護国神社】
(和気会長以下八名出席)
- 八月 二日 神道青年四国地区協議会
第十一回定例総会
【高知県・高知大神宮・高知新坂急ホテル】
(和気会長以下八名出席)
- 二日 神道青年四国地区協議会第二回役員会
【高知県 高知新坂急ホテル】
(和気会長以下五名出席)
- 二日 神道青年四国地区協議会設立十周年
記念式典 (和気会長以下九名出席)
- 十九日 四万十川体験親睦会 【高知県西土佐村】
(和気会長以下大人子供三十七名参加)
- 二十九日 神道青年全国協議会副セミナー
(和気会長以下四名出席) 【神社本庁】
- 九月 十五日 初詣ボスタ 発送作業
【愛媛県神社庁】
- 十八日 第四回役員会
(和気会長以下十一名出席)
- 三十日 神道青年四国地区協議会 会長連絡会
(和気会長以下四名出席) 【石鐘神社】
- 十月二十八日 愛媛県神社庁協議員会 【愛媛県神社庁】
(和気会長出席)
- 十一月十五日 第五回役員会 【伊豫豆比古命神社】
(十一名出席)
- 二十五日 三島・森田両烈士慰霊祭
(和気会長以下九名奉仕) 【伊豫豆比古命神社】
- 二十五日 観月神楽慰労会 【松山市内】
(和気会長以下十四名出席)

平成十八年

- 十二月 十二日 神道青年四国地区協議会
設立十周年ボウリング大会
【香川県 スーパーボウル高松】
(長官我部副会長以下六名出席)
- 十二月十三日 神道青年四国地区協議会 第三回役員会
【ロイヤルパークホテル高松アネックス】
(長官我部副会長以下六名出席)
- 一月 十八日 年頭正式参拝
(和気会長以下十名参列) 【愛媛県護国神社】
- 十八日 第六回役員会 【国際ホテル松山】
(和気会長以下十名出席)
- 十八日 新年研修会
【人間力開発研修会】
- 十八日 新年互礼会
講師 井原桂吾 先生 (二十一名出席) 【同 右】
- 二月 十一日 建国記念の日奉祝大会
(和気会長以下出席) 【同 右】
- 二十二日 慰問神楽 【松山市中島町 姫ヶ浜荘】
(和気会長以下十二名奉仕)
- 三月 一日 会報「若竹」四十五号 発刊
十三日 神道青年四国地区協議会 設立十周年
第八回 神道行法鍊成会 【石鐘神社】
(和気会長以下十三名出席)
- 二十三日 神道青年全国協議会中央研修会
(鳥取県 皆生ランドホテル天水)
(和気会長以下九名出席)
- 二十九日 第七回役員会 【伊豫豆比古命神社】
(和気会長以下十二名出席)

愛媛県神道青年会

平成17年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	650,000	605,500	△44,500	年会費・定時総会費・新年互礼会会費・観月神楽慰労会費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より助成金
3 寄付金	1,300,000	1,633,000	333,000	県内神職寄付金・諸事業助成金
4 雑収入	238,613	890,830	652,217	神青協事業寄付金・事業収入(床几類布他)中央研修会旅費
5 繰越金	721,387	721,387	0	平成16年度より
歳入合計	3,110,000	4,050,717	940,717	

歳出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減(△減)	付 記
1 会議費	750,000	746,166	△3,834	定時総会・新年互礼会・役員会・観月慰労会・監査会
2 研修教化	550,000	749,224	199,224	観月神楽・慰問神楽・地区協10周年記念式典・総会研修会参加費(9名分)中央研修会参加費(9名分)・夏期セミナー参加費(4名分)
3 事業費	650,000	976,500	326,500	四人掛床机・初詣啓発ポスター作成費
4 広報費	250,000	200,910	△49,090	若竹44号、45号作成発送・ホームページ維持費
5 事務費	100,000	143,828	43,828	封筒他事務用品・振替手数料・事務局手当
6 備品費	10,000	0	△10,000	
7 旅 費	350,000	404,350	54,350	神青協定例総会出向費・中央研修会旅費・神青協出向補助
8 慶弔費	50,000	35,000	△15,000	慶弔金・電報代
9 分担費	305,000	301,000	△4,000	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	20,000	11,050	△8,950	研修講師御礼品
12 予備費	25,000	0	△25,000	
歳出合計	3,110,000	3,618,028	508,028	

歳入合計 ￥4,050,717

歳出合計 ￥3,618,028

差引残高 ￥432,689 平成18年度に繰越

平成18年4月17日

愛媛県神道青年会 会長 和気 省一 提出

上記の通り相違ない事を認めます

平成18年4月17日

監事 眞鍋 豊孝 (印)

監事 三輪田 泰生 (印)

平成十八年度 活動計画

四月 十七日	第一回役員会	(伊豫豆比古命神社)	
四月 二十六日	神道青年全国協議会 第五十八回 定例総会	(神社本庁)	【神青協】
五月 九日	神道青年全国協議会 総会講演会・皇居参観	(神社本庁・皇居)	【神青協】
五月 九日	第二回役員会	(いよてつ会館)	
五月 十六日	第三十五回 定時総会	(いよてつ会館)	
六月	神道青年四国地区協議会 第一回 役員会	(高知)	【地区協】
八月 二十・二十一日	会報「若竹・第四十六号」発刊		
八月 二一・三日	第三回野外体験親睦会 高知県幡多郡大月町柏島 海水浴		
九月 十九日	神道青年四国地区協議会 第十二回定例総会並びに研修会	(香川)	【地区協】
九月 二十六・二十七日	神道青年四国地区協議会 第九回神道行法鍊成会	(徳島)	【地区協】
九月 二十日	神道青年全国協議会 夏期セミナー	(神社本庁)	【神青協】
九月 下旬	神道青年四国地区協議会 第二回役員会	(徳島)	【地区協】
十一月 二十五日	初詣ボスタ 発送作業	(愛媛県神社庁)	
十二月	三島・森田両烈士慰霊祭		
一月	神道青年四国地区協議会 第三回役員会・親睦ボウリング大会 (愛媛)		【地区協】
一月	新年研修会・互礼会		
三月 八・九日	会報「若竹・第四十七号」発刊		
未定	神道青年全国協議会 「中央研修会」	(宮崎県)	【神青協】
	慰問神楽演奏		
	その他 役員会にて議案審議		

愛媛県神道青年会

平成18年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付記
1 会費	650,000	800,000	150,000	年会費・新年互礼会費他
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,300,000	1,300,000	0	県内神職寄付金・事業援助金
4 雑収入	238,613	177,311	△61,302	神青協事業還付金・事業収入
5 繰越金	721,387	432,689	△288,698	平成17年度より
歳入合計	3,110,000	2,910,000	△200,000	

歳出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付記
1 会議費	750,000	750,000	0	総会・役員会・新年互礼会 他
2 研修教化	550,000	550,000	0	観月神楽・慰問神楽・新年研修会 ・各種研修参加助成 他
3 事業費	650,000	400,000	△250,000	初詣啓発ポスター・床几頒布事業
4 広報費	250,000	250,000	0	若竹発刊「第46号」「第47号」、
5 事務費	100,000	150,000	50,000	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 旅費	350,000	350,000	0	神青協総会・神青協役員旅費補助 他
8 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔金・電報代
9 分担費	305,000	305,000	0	神青協及び地区協賛出金 ・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	20,000	20,000	0	
12 予備費	25,000	25,000	0	
歳出合計	3,110,000	2,910,000	△200,000	

歳入合計 2,910,000円

歳出合計 2,910,000円

差引残高 0円

平成18年4月17日 愛媛県神道青年会役員会提出

【助成金】

金貳拾萬圓也 愛媛県神社庁 殿

【平成十七年度寄付助成ご芳名】

題不同

東予地区

金壹拾萬圓也

石鏡神社

十亀 興美 殿

金伍萬圓也

大山祇神社

三島 喜徳 殿

金參萬圓也

神社庁

新居支部 殿

一宮神社

矢野 哲夫 殿

宇佐八幡神社

松本 美枝子 殿

金壹萬圓也

伊曾乃神社

井上 千賀司 殿

多伎神社

沼崎 守文 殿

姫坂神社

沼崎 守文 殿

石岡神社

越智 基晃 殿

橋新宮神社

高橋 佳幹 殿

鶴岡八幡神社

矢野 徳光 殿

高尾神社

玉井 忠素 殿

金壹萬圓也

網敷天満神社

管 通利 殿

嘉母神社

石川 漢見 殿

大浜八幡大神社

桧垣 壮次 殿

今宮神社

佐藤 伊都男 殿

村山神社

柿田 三雄 殿

熊野神社

田邊 捷 殿

綾延神社

森 正康 殿

生名八幡神社

西村 純子 殿

飯積神社

葛城 光彦 殿

大井八幡大神社

榊部 浄文 殿

玉生八幡神社

平田 彰 殿

風伯神社

矢野 正貫 殿

高浜八幡神社

亀山 和麿 殿

須賀神社

藤原 豁博 殿

喜多浦八幡大神社

馬越 祥穂 殿

岩城八幡神社

八原 敬陸 殿

金伍仟圓也

八幡大神社

安藤 潔 殿

三皇神社

熊本 真克 殿

弓削神社

川原 啓三郎 殿

金參仟圓也

上分神社

熊本 真克 殿

黒嶋神社

近藤 史孝 殿

土居神社

矢野 耕一郎 殿

中予地区

金壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部延昭 殿

金伍萬圓也

愛媛縣護國神社

波爾 莊 殿

金參萬圓也

神社庁

松山支部 殿

神社庁

伊予支部 殿

金貳萬圓也

神社庁

久万支部 殿

大宮八幡神社

眞鍋 和敏 殿

金壹萬伍仟圓也

三島神社

熊田 誠一 殿

金壹萬圓也

雄郡神社

高市 誠司 殿

還熊八幡神社

玉井 次明 殿

金七萬圓也

正八幡神社	重松 讓 殿
金刀比羅神社	山下 幸志 殿
井手神社	横田 貞子 殿
波賀部神社	武智 彰宏 殿
高家八幡神社	都子野 清明 殿
恵依彌二名神社	高市 慶久 殿
東雲神社	田内 逸武 殿
三嶋大明神社	武智 和子 殿
高繩神社	正岡 重岩 殿
早虎神社	立野 好仁 殿
湊三嶋大明神社	渡部 定詔 殿
正八幡神社	権名津 千風 殿
忽那島八幡宮	大宮 信篤 殿
三島神社	久保田 敏 殿
金刀比羅神社	大谷 伸二 殿
勝岡八幡神社	武智 輝子 殿
日吉神社	都子野 清彦 殿
金伍阡圓也	
天満神社	武智 成保 殿
阿沼美神社	大内 信麿 殿
三島神社	高市 守久 殿

金伍阡圓也

船越和氣比売神社	武智 盛明 殿
徳威三嶋宮	別府 頼房 殿
三島神社	玉井 貞臣 殿
八坂神社	都築 芳憲 殿
新田八幡神社	都築 芳憲 殿
新田神社	都築 芳憲 殿
立石神社	都築 芳憲 殿
阿沼美神社	田内 逸和 殿
高岸三島神社	武智 啓 殿
天一稲荷神社	武智 純二 殿
高忍日売神社	後藤 正直 殿
生石八幡神社	中西 明 殿
大和神社	武智 新 殿
當田八幡神社	額田 重則 殿
伊曾能神社	武市 盛幸 殿
徳川神社	武智 宣往 殿
五柱神社	森 東洋司 殿
金參阡圓也	
若宮八幡神社	三好 捷三 殿

南子地区

金七萬圓也	三輪田 元亮 殿
和霊神社	
金參萬圓也	
神社庁	宇和支部 殿
八幡神社	常磐井 守興 殿
金式萬伍阡圓也	
八幡神社	清家 貞宏 殿
金式萬圓也	
神社庁八西支部	八幡浜分会 殿
神社庁大洲喜多支部喜多郡分会	
八幡神社	吉岡 太瑯 殿
金七萬圓也	
神社庁宇和島支部	宇和島市分会 殿
総社大明神社	森本 隆夫 殿
三嶋神社	和氣 利雄 殿
金伍阡圓也	
神社庁	南宇和郡支部 殿
大元神社	井上 直隆 殿
多賀神社	久保 盛浩 殿
天満神社	宮本 稚秋 殿

金伍阡圓也

大本神社

大川 實 殿

諏訪神社

石村 聖 殿

宇都宮神社

宮岡 賢二郎殿

大元神社

矢野 賀久 殿

金參阡圓也

和霊神社

三瀬 勝史 殿

【定時総会御祝金】

金壹萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部延昭殿

三島神社

松浦 正樹 殿

愛媛縣護國神社

波爾 莊 殿

大宮八幡神社

眞鍋 和敏 殿

殿島神社

柳原 幸 殿

櫛玉比売命神社

井上 貞人 殿

宇和津彦神社

吉田 充興 殿

三島神社

一宮 康人 殿

金伍阡圓也

愛媛県女子神職会殿

愛媛県神社庁殿

高忍日売神社

後藤 正宜 殿

【観月神楽の夕べ御祝金】

金壹萬圓也

伊豫豆比古命神社

愛媛県神社庁殿

吹揚神社

長曾我部延昭殿

石鷄神社

田窪 久 殿

八幡神社

清家 貞宏 殿

金貳萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部延昭殿

三島神社

菊地 宣之 殿

愛媛縣護國神社

波爾 莊 殿

伊曾乃神社

井上 千賀司殿

大宮八幡神社

眞鍋 和敏 殿

殿島神社

柳原 幸 殿

高忍日売神社

後藤 正宜 殿

櫛玉比売命神社

井上 貞人 殿

朝日八幡神社

田内 一弘 殿

愛媛県女子神職会殿

愛媛県神社庁殿

高忍日売神社

後藤 正宜 殿

櫛玉比売命神社

井上 貞人 殿

朝日八幡神社

田内 一弘 殿

愛媛県女子神職会殿

愛媛県神社庁様の助成金を

始め、県下各神職様からの寄

付助成を戴き誠に有り難うご

ざいます。

当青年会の基本方針「運営

費が会費と寄付金によつて成

り立っていることを再認識し、

質素儉約を旨と経費節減に努

め、最小のコストで最大の成

果が得られるよう努力する」

を掲げております。

この基本方針を再認識し、

皆様からの寄付助成金を大切

に、また有意義に使わさせて

頂きたく存じますので何卒ご

理解を頂き、続けてご支援を

賜りますようお願い申し上げます。

有り難うございました。

【愛媛県神道青年会々員一同】

★青年会御卒業★

定時総会に於いて、規定年齢(四十歳)をお迎えになり、当会を御卒業される先輩方をご紹介致します。

一宮神社 欄宜

早田 雅雄 様

大西神社 宮司

及川 徹也 様

神明神社 宮司

氏本 学 様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜りまして誠に有り難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。今後も尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう御願ひ申し上げますと共に益々の御活躍を御祈念申し上げます。

★新入会員紹介★

新入会員で先般の総会出席者三名
石鎚神社 主典 上村 修一



宇佐八幡神社 宮司 重松 修



風早大神宮 欄宜 正岡 重則



瀧神社 近藤 崇道
石鎚神社 主典 山崎 浩司
吹揚神社 欄宜 田窪 大朗
阿沼美神社 権欄宜 田内 逸啓

計七名の新入会員です。

神社界の諸問題、並びにその他の社会問題に関心を持つて頂き、斯界の尖兵として、共に勉強し励んで頂きます事を期待致します。まずその前に、青年会の諸行事に出来るだけ参加戴き、先輩諸賢は元より我々同世代の神職と親睦を深めて頂きたいと存じます。共にがんばりましょう。

神青HP管理人からのお知らせ
青年会ホームページが、少しリニューアルしました。トップページには会員からのコラムを順次掲載しておりますので、是非お立ち寄り下さい。

また、このコラムへの投稿を募集しています。問い合わせは

apessi@mxi.netwave.or.jp まで

～愛媛県神道青年会主催～

【第3回野外体験親睦会 柏島海水浴】

【とき】 平成18年8月23日(水)赤口 ～ 24日(木)先勝

【ところ】 高知県幡多郡大月町柏島

【趣旨】 太平洋の黒潮と豊後水道がぶつかる周辺海域は大変海が綺麗。そんな大自然を満喫しながら、会員相互の親睦はもとより会員の家族子弟を含めた親睦を深めることを目的とする。

【参加資格】 愛媛県神道青年会役員・会員・OB、またその家族・子弟、当県神社界に携わる者。

【概要】 8月23日：《集合》午後3時

南宇和郡御荘サンパール(プール)駐車場
全車で大月エコロジーキャンプ場へ向う。
親睦会。花火大会。宿泊。

8月24日：柏島にて海水浴。

西瓜割り大会やゴムボートレース大会など
楽しい企画を予定。

また、各自負担にはなりますが、テーブルサンゴ
や熱帯魚の海中景観を楽しめるグラスボートもご
ざいます。(要予約)

午後3時閉会予定。

【注意事項】 宿泊場所や交通手段に多少不便をおかけするとは思いますがご了承下さい。また会費を超える予算の取り扱いについては参加者全員での分担となります事をご理解下さい。尚開催地までの交通費は自己負担となります。

【必要経費】 参加費未定 目安は 大人1人 5,000円
小学生以下1人 1,500円

21日のみの参加者は無料。

【その他】 愛媛県神道青年会主催ではありますが参加者全員で作りに上げる行事ですので皆様の寛大な心でのご協力をお願い申し上げます。宿泊に関しましてはテント・キャビン・ホテルの三択になります。

す。申し込み時にご指定下さい。テントのレンタルもございますが、古いテントだそうなので持参をお勧めします。

また、ペットの入場は禁止です。

テント、キャビン — 大月エコロジーキャンプ場
ホテル — ホテルベルリーフ大月

グラスボートをご利用予定の方は予約が必要ですので申し込み用紙にご記入願います。

海水浴で必要と思われる物（浮き輪、水中眼鏡、サンオイル等）は各自ご持参下さい。

【参加申し込み】 締め切り日は7月20日とします。

出来るだけ早めをお願いします。

別紙のFAX用紙にてお申し込み下さい。

FAX 0892-58-2274 小野哲也

【お問い合わせ】 実行委員長 小野哲也 090-5915-0990

// 副 // 一宮利史 090-5149-6035

// 副 // 阿部茂之 090-9555-1689

青年会事務局 田内逸知 090-7370-6078

※ 順次、最新情報を青年会HPに掲載いたしますのでご確認下さい。

<http://www.ehimeshinsei.net/>

※ 台風、災害等、安全確保出来ない状況だと中止する場合があります。

私たちは、このたび亀山八幡宮宮司
河原忠孝様ご夫妻のご媒酌により、
四月二十二日伊豫豆比古命神社前
に於いて挙式を斎行致しました。
なにぶんにも未熟な私どもでござい
ますので、今後ともご指導ご鞭撻の
程、宜しく御願ひ申し上げます。

長曾我部 信弥

てる奈



長曾我部信弥理事がこの度
目出度くご結婚されました。
末永いお幸せをお祈り申し
上げます。 「みんな」

★ご結婚おめでとうございます★
長曾我部 信弥君 てる奈さん

頒布品の御案内

4人掛床几

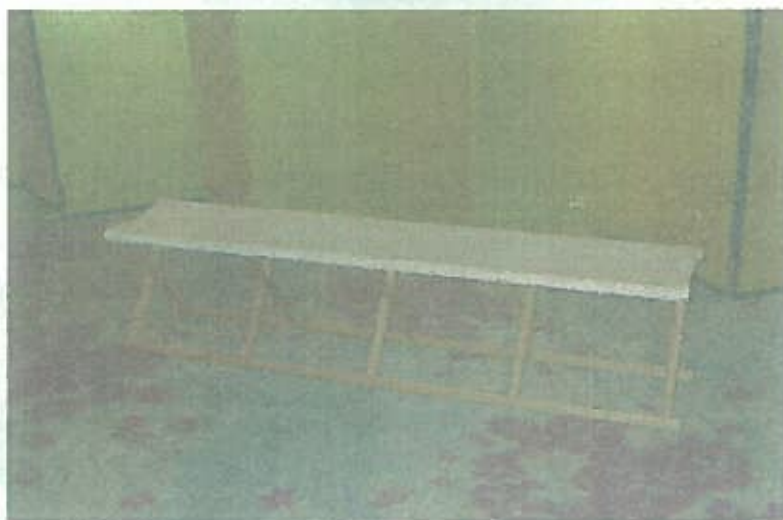
一脚◆17,000円 ◆耐水幌布使用
◆長さ180cm ◆幅33cm ◆高さ44cm

◇ご注文・お問い合わせは◇

〒790-0008 松山市丸之内73-1 東雲神社内

愛媛県神道青年会 事務局 田内逸知

TEL 089-921-8938 FAX 左同



愛媛県神道青年会